
日本カリキュラム学会

第14回 研究集会のお知らせ

代表理事: 松下 佳代
研究委員会委員長: 上地 完治

テーマ

科学教育における「探究的な学習」の理論と実践

趣旨

本研究集会では、まずアメリカにおける科学教育の文脈での探究的な学習に関する著書を出版された若手研究者にその研究成果を報告してもらい、その後、子どもたちの探究的な学習の実践例を学校現場から紹介していただくことで、科学教育における探究的な学習を理論・実践の両面から立体的に捉えて、理解を深めることを目的としている。

理論的報告は、2023年に『アメリカにおける科学教育カリキュラム論の変遷—科学的探究から科学的実践への展開—』を出版した大貫守会員に担っていただく。大貫会員には、1950年代以降のアメリカの科学教育における科学的探究の動向や、探究的な学習の取り組みについての議論をまとめてもらうとともに、「探究的な学習」の到達点と課題について総合的に検討していただく。

実践的報告は、大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎で理科・地学を担当されている井村有里教諭にお願いした。井村氏は生徒たちが研究者の視点を持つことを目指し、羽毛恐竜復元をテーマとした英語・美術・生物・数学との教科横断授業に取り組んでいる。当日は、研究班で復元に必要な情報を収集し、まだ正解のない復元図および模型を制作する授業プログラムを通して、縦割りされた科目どうしの知識・考え方を結びつける必然性と、科学の人間臭さを生徒達に実感させる試みについて報告していただく。

日時: 2024年3月16日(土) 13:00-16:00

(※15:30~16:00はオンラインで交流会を実施します)

参加方法: オンライン (Zoom ミーティング又はウェビナー)

※12:40頃から入室可。

報告者:

- 大貫 守会員 (愛知県立大学)
- 井村有里氏 (大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎)

司会

上地完治 (琉球大学)、田村知子 (大阪教育大学)

コーディネーター

上地完治、田村知子、鶴川護 (香川大学教育学部附属高松小学校)

参加費 無料 (学会員でない方にもご参加いただけます)

参加申込について

参加希望者は学会ホームページのお知らせ、もしくは下記のリンクから、「2024年3月12日(火)」までにお申し込みをお願いします。

申込者には登録メールアドレス宛に自動的に接続情報が送付されます。届かない場合は、「迷惑メール」のフォルダに入っていないかご確認ください。接続情報が記載されたメールを紛失した場合は、再度お申し込みください。

>>>[参加申込用 Google フォーラムはこちら](#)